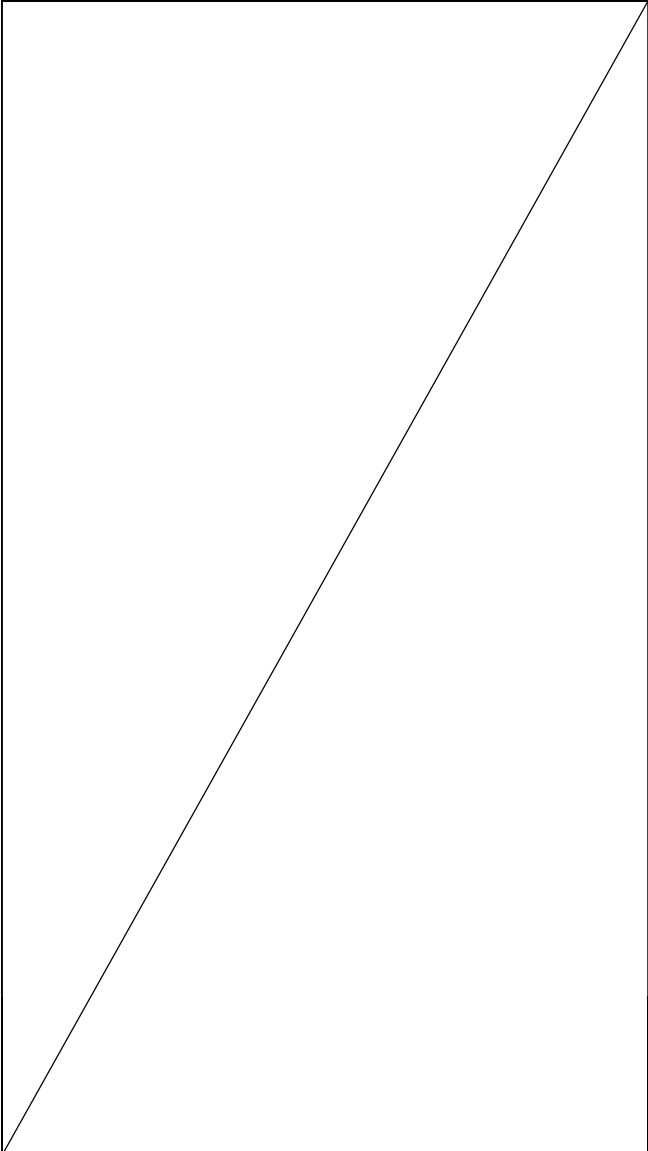


2019 年山形大会プログラム(10 月 31 日・午前)

A 会場 (1F・テルサホール)	B 会場 (1F・大会議室)	C 会場 (2F・リハーサル室)
	<p>Chair. Dr. T. Murayama (Tokyo Metropolitan Univ.) (09:30~10:30)</p> <p>1B01(09:30~10:00)【Invited】Catalytic conversion of methane over zeolite catalysts (Tokyo Inst. Tech.)○T. Yokoi</p> <p>1B02(10:00 ~ 10:30)【Invited】Bead-shaped porous oxide particle for environmental applications (Konkuk Univ.)○J.-B. Joo</p>	<p>司会 森 浩亮氏(大阪大学) (09:30~10:15)</p> <p>1C01(09:30~09:45)Ga系エタン脱水素反応におけるBa添加効果の理論的検討(早稲田大)○美崎 慧,都甲健太,関 裕文,斎藤 晃,細野由希子,村上洗太,小河脩平,(クボタ)前田 駿,橋本国秀,(早稲田大)関根 泰</p> <p>1C02(09:45~10:00)Pt/BEAによるプロパンの脱水素に対するFeの添加効果に関する速度論的検討(早稲田大)牛木涼友,○星野浩慶,松方正彦</p> <p>1C03(10:00~10:15)金属硫化物触媒を用いたブタン脱水素反応(島根大)豊平裕樹,○久保田岳志,小俣光司</p>
	<p>Break (10:30~10:45)</p> <p>Chair. Dr. Y. Nakasaka (Hokkaido Univ.)(10:45~11:30)</p> <p>1B03(10:45~11:00)Several nm thick zeolite synthesized by face-selective crystal growth inhibition (Hiroshima Univ.)○N. Tsunoji, M. Sadakane</p> <p>1B04(11:00 ~ 11:15)Simulation and optimization of an once-through hydrocracking unit (ADNOC)○B. Saha, M. Abdur Rakib, M. Al Musharfy</p> <p>1B05(11:15~11:30)Development of Si-decorated Ni catalysts highly active for hydrogenation reactions (Hokkaido Univ.)○W. F. Simanulang, S. Furukawa, K. Shimizu</p>	<p>休憩(10:15~10:30)</p> <p>司会 杉浦行寛氏(JXTG エネルギー) (10:30~11:15)</p> <p>1C04(10:30~10:45)イリジウム触媒を用いた高圧水素中でのデカリン開環反応(鳥取大)○金治弘樹,菅沼学史,辻 悦司,片田直伸</p> <p>1C05(10:45~11:00)ゼオライト含有階層構造触媒による <i>n</i>-ペンタンの環化脱水素反応に及ぼすマトリックスの影響(三重大)○水野琢也,橋本忠範,那須弘行,石原 篤</p> <p>1C06(11:00~11:15)非平衡 RhCu 合金触媒の開発とアンモニアボランからの水素生成反応への応用(大阪大)○増田晋也,俊 和希,(大阪大,京都大-ESICB)森 浩亮,桑原泰隆,山下弘巳</p>

2019 年山形大会プログラム(10 月 31 日・午前)

D 会場 (3F・アプローチ A)	E 会場 (3F・アプローチ B)	F 会場 (3F・研修室 B)
<p>司会 武藤昭博氏(千代田化工建設)(09:30~10:30)</p> <p>1D01(09:30~09:45)直接脱硫触媒における亜鉛添加効果の機構解析(コスモ石油)○鈴木伸也,川井尊磨,石田貴嗣,阿部正樹,中嶋伸昌,(名工大)羽田政明</p> <p>1D02(09:45~10:00)直接脱硫装置リアクターの圧力損失推定モデルの構築(コスモ石油)○石田貴嗣,飯塚千絵,出井一夫,阿部正樹,中嶋伸昌</p> <p>1D03(10:00~10:15)白金添加リン化ロジウム触媒による水素化脱硫反応(室蘭工大)○神田康晴,齊藤 凌,辻野太紀,上道芳夫</p> <p>1D04(10:15~10:30)リン化合物と硫化物の混合触媒による水素化脱硫反応(室蘭工大)○張 治宇,辻野太紀,神田康晴</p>	<p>司会 大島一真氏(成蹊大学)(09:30~10:30)</p> <p>1E01(09:30~09:45)比表面積を拡大した沈殿触媒の新規合成法(九州大)○斉間 等,昆 竜矢,戸高昌俊,門田昂大,甲斐聖哉,(JFE スチール)茂木康弘</p> <p>1E02(09:45~10:00)PEFC 電極用 Co₂C/C の酸素還元反応活性と安定性(東北大)○根谷 温,遠藤夏奈江,中谷昌史,藪下瑞帆,真木祥千子,蟹江澄志,村松淳司</p> <p>1E03(10:00~10:15)電場印加触媒反応を用いた水からの水素生成(早稲田大)○牧浦淳一郎,黒澤佑太郎,荻野健太郎,比護拓馬,小河脩平,関根 泰</p> <p>1E04(10:15~10:30)電場中における低温メタン水蒸気改質における担体の効果(早稲田大)○中野直哉,鳥本万貴,久井雄大,小河脩平,関根 泰</p>	<p>司会 野村琴広氏(首都大学東京)(10:30~11:30)</p> <p>1F01(10:30~10:45)調製法・ドナーの異なる Ziegler-Natta 触媒の X 線全散乱を用いた構造解析(北陸先端大,Dutch Polymer Inst.)○和田 透,(北陸先端大)高棹玄徳,(北陸先端大,Dutch Polymer Inst.)P. Chammingkwan,寺野 稔,谷池俊明</p> <p>1F02(10:45~11:00)機械学習を用いた構造決定による TiCl₄ 終端 MgCl₂ ナノ粒子の化学組成・構造関連の解明(北陸先端大)○高棹玄徳,(北陸先端大,Dutch Polymer Inst.)和田 透, C. Patchanee,寺野 稔,谷池俊明</p> <p>1F03(11:00~11:15)酸処理モンモリロナイト担持架橋型ジルコセン錯体触媒によるエチレン/1-オクテン共重合—活性種のマルチサイト性—(埼玉大)○長谷川直紀,渡辺健太,平原実留,荻原仁志,黒川秀樹</p> <p>1F04(11:15~11:30)酸化セリウムと 2-シアノピリジンを用いた二酸化炭素とアミノアルコールの直接重合反応(東北大)○海老澤 惇,田村正純,中川善直,富重圭一</p>
<p>休憩(10:30~10:45)</p>	<p>休憩(10:30~10:45)</p>	
<p>司会 梶 英氏(JXTG エネルギー)(10:45~11:30)</p> <p>1D05(10:45~11:00)高性能 VGO 脱硫触媒の開発(日揮触媒化成)○松元雄介,堀 みどり,石原久也,渡部光徳</p> <p>1D06(11:00~11:15)第一リン酸アルミニウム添加による FCC 触媒性能向上(コスモ石油)○千代田範人,関本敦久,佐藤一仁</p> <p>1D07(11:15~11:30)FCC 触媒の新規強制劣化方法(コスモ石油)○千代田範人,佐藤一仁</p>	<p>司会 菊地隆司氏(東京大学)(10:45~11:30)</p> <p>1E05(10:45~11:00)キレート剤を用いて金属を導入した NiCuAl-LDH によるメタノール水蒸気改質(関西大)○赤木太政,福 康二郎,池永直樹</p> <p>1E06(11:00~11:15)銅系触媒を用いた低温ジメチルエーテル水蒸気改質における固体酸の混合効果(岐阜大)○上野純平,宮本 学,近江靖則,上宮成之</p> <p>1E07(11:15~11:30)CH₄ のドライ改質場と炭素捕集場を組み込んだ構造体システムに及ぼす操作条件の影響(静岡大)松井義人,白井千聖,○渡部 綾,河野芳海,福原長寿</p>	

2019 年山形大会プログラム(10 月 31 日・午前)

G 会場 (3F・研修室 A)	H 会場 (3F・交流室 A)	ポスター会場 (3F・ホワイエ)
<p>司会 小谷野耕二氏(日揮)(09:30~10:30)</p> <p>1G01(09:30~10:00)【招待】原油・天然ガス中の水銀に関する技術的知見 (インベックスソリューションズ)○金田英伯</p> <p>1G02(10:00~10:15)水銀高含有原油に関する経済性の考察 (石油連盟)○浜林郁郎</p> <p>1G03(10:15~10:30)液状炭化水素中の単体水銀除去特性 (愛媛大)○山浦弘之,櫻井隼斗,山口修平,八尋秀典, (IH テクノ)幾島將貴,幾島嘉浩</p> <p>司会 浜林郁郎氏(石油連盟)(10:30~11:30)</p> <p>1G04(10:30~10:45)ベンゼン中に含まれる微量窒素化合物の除去技術の開発(IH テクノ)○幾島賢治,(愛媛大)八尋秀典</p> <p>1G05(10:45~11:00)化合物水銀の除去を目的とした分解吸着プロセスの検討例(日揮)○小谷野耕二,佐藤一夫</p> <p>1G06(11:00~11:15)水俣条約と水銀廃棄物の適正処理 (野村興産)○岩瀬博樹</p> <p>1G07(11:15~11:30)小型加熱気化装置を用いた石油製品中の水銀測定と公定法との比較結果の報告 (日本インスツルメンツ)○三ツ井亮洗,谷田幸次,日下雅明,渡辺朋亮</p>	<p>司会 渡部 綾氏(静岡大学)(09:45~10:30)</p> <p>1H01(09:45~10:00)中温作動型電解セルを用いたエタンの部分酸化反応(東京大)○本多勇介,藤原直也,多田昌平,小林靖和,大山茂生,菊地隆司</p> <p>1H02(10:00~10:15)酸化・還元周期処理した結晶性 $\text{Mo}_{25}\text{V}_{11}\text{O}_{112}$ 複合酸化物触媒のエタン酸化活性 (神奈川大)○青木和沙,石川理史,上田 涉</p> <p>1H03(10:15~10:30)デラフォサイト型金属酸化物触媒を用いた酸化脱水素反応における層間カチオンの効果 (東工大)○遠藤利奈,高山大鑑,小松隆之</p> <p>休憩 (10:30~10:45)</p> <p>司会 小林靖和氏(東京大学)(10:45~11:30)</p> <p>1H04(10:45~11:00)様々な担持触媒によるプロピレンからプロピレンオキシドへの酸化的エポキシ化反応 (徳島大)○杉山 茂,佐桑康太,荻野友保,坂本尚隆,霜田直宏,加藤雅裕</p> <p>1H05(11:00~11:15)ε-Keggin 構造をユニットとするマイクロ細孔性複合酸化物触媒による乳酸エチルの気相酸化 (神奈川大)○仁藤廣一,石川理史,上田 涉</p> <p>1H06(11:15~11:30)酸化ニオブによる 5-ヒドロキシメチルフルフラールの選択的光酸化における金ナノ粒子担持効果 (首都大)○望月ちひろ,宍戸哲也,石田玉青,春田正毅,村山 徹</p>	<p>ポスター掲示 (11:00~16:30)</p>

2019 年山形大会プログラム(10 月 31 日・午後)

A 会場 (1F・テルサホール)	B 会場 (1F・大会議室)	C 会場 (2F・リハーサル室)
<p>【市民講座】 司会 進藤隆世志氏(秋田大学) (13:00~15:00) 「バイオマス燃料の話」(13:00~14:00) 山形大学大学院理工学研究科 多賀谷英幸</p> <p>「持続可能なバイオマスの利用—そのメリットと課題—」 (14:00~15:00) 東北大学大学院工学研究科化学工学専攻 福島康裕</p> <p>休憩(15:00~15:15)</p> <p>司会 白井誠之氏(岩手大学) (15:15~15:45) 「未来の光—次世代放射光プロジェクト—」(15:15~15:45) 東北大学多元物質科学研究所 村松淳司</p>	<p>司会 塩野 毅氏(広島大学) (13:00~14:30) 1B06(13:00~13:45)【招待】ポリオレフィン産業—将来の技術開発の方向性— (日本ポリケム)○田谷野孝夫</p> <p>1B07(13:45~14:30)【Invited】Metallocene based polyolefins with special properties (Prof. emeritus at Univ. Hamburg, JAIST)○W. Kaminsky</p> <p>Break (14:30~15:00)</p> <p>Chair. Dr. N. Tsunoji (Hiroshima Univ.)(15:00~15:45) 1B08(15:00~15:15)Promotive effect of Ba doping on redox properties of Mn in Ba-doped LaMnO₃ for dehydrogenation of ethane (Waseda Univ.)○H. Saito, Y. Hosono, H. Seki, (Kubota)S. Maeda, K. Hashimoto, (Waseda Univ.)T. Higo, S. Ogo, Y. Sekine</p> <p>1B09(15:15~15:30)Resid fluid catalytic cracking (RFCC) unit model development for a dual-riser R2R configuration (ADNOC)○M. Abdur Rakib, B. Saha, M. Al Musharfy</p> <p>1B10(15:30 ~ 15:45)On the production of maximizing propylene to improve the refining economics (ADNOC)○G. Pragasam Singaravel, A. Al Katheeri, S. Morin, M. Berthod</p> <p>Chair. Dr. H. Muroyama (Kyoto Univ.)(15:45~16:15) 1B11(15:45 ~ 16:00)Selective oxidation of acrolein over crystalline Mo–V–W–O catalyst (Kanagawa Univ.)○S. Ishikawa, Y. Yamada, N. Noda, W. Ueda</p> <p>1B12(16:00~16:15)Cu–Pd single-atom alloy catalyst for highly efficient deNO_x at low temperatures (Hokkaido Univ.)○F. Xing, J. Jeon, (Hokkaido Univ., Kyoto Univ.-ESICB)K. Shimizu, S. Furukawa</p>	<p>司会 川畑尚之氏(富士石油) (13:10~14:30) (13:10~13:15)装置部会長挨拶 (出光)○坂巻正登</p> <p>1C07(13:15~13:30)結露配管 CUI 検査への新検査技術 (OPEN VISION) の適用(富士石油)○高田翔太</p> <p>1C08(13:30~13:45)放射線ラインセンサの配管検査への適用事例 (ウイズソル)○松山雅幸</p> <p>1C09(13:45~14:00)配管の腐食事例と検査点の設定 (出光)○小倉 剛</p> <p>1C10(14:00~14:15)ラック上配管外面腐食検査への配管リフトアップ技術適用(日揮)○小池慎一</p> <p>1C11(14:15~14:30)CUI 検査に関する取り組み (コスモ石油)○伊藤智貴</p> <p>休憩(14:30~15:00)</p> <p>司会 鷗澤勝義氏(コスモ石油) (15:00~16:15) 1C12(15:00~15:15)設備を見守る産業用 IoT 無線 sensor (横河ソリューション)○杉立 淳</p> <p>1C13(15:15~15:30)無線計装システム活用による設備信頼性向上の取り組み(富士石油)○中田敦久</p> <p>1C14(15:30~15:45)広域ガス監視システムの高度化 (コニカミノルタ)○都築斉一</p> <p>1C15(15:45~16:00)製油所電力の保安向上への取り組み (富士石油)○山田 博</p> <p>1C16(16:00~16:15)防災力強化への取り組みについて (太陽石油)○松浦秀樹</p>
<p>16:30~16:35 会長挨拶 16:35~16:45 設備維持管理士優良事業所表彰式</p> <p>司会 多賀谷英幸氏(山形大学) 16:45~17:45 特別講演「大学から地方創生」 山形大学大学院理工学研究科 教授 城戸淳二</p>		

2019 年山形大会プログラム(10 月 31 日・午後)

D 会場 (3F・アプローチ A)	E 会場 (3F・アプローチ B)	F 会場 (3F・研修室 B)
<p>司会 鳥羽 誠氏(産業技術総合研究所) (13:00~14:30)</p> <p>1D08(13:00~13:15)タングステン-パラジウム触媒を用いた 1,2-オクタジエールの水素化脱酸素による <i>n</i>-オクチルエーテル合成(東北大)○早坂弘樹,中川善直,田村正純,富重圭一</p> <p>1D09(13:15~13:30)Ru/MFI ゼオライトを触媒とするピログルタミン酸から 2-ピロリドンの選択的合成(鳥取大)○大谷明央,菅沼学史,辻 悦司,片田直伸</p> <p>1D10(13:30~13:45)チタニア担持 Pd ナノ粒子触媒を用いたバイオマス由来フルフラールの変換(大阪大,京都大-ESICB)○桑原泰隆,(大阪大)岡田雅広,(大阪大,京都大-ESICB)山下弘巳</p> <p>1D11(13:45~14:30)【招待】リグノセルロース系バイオマスを原料としたエタノール生産へ向けた前処理から発酵プロセスまでの検討(山形大)○高畑保之,小池省悟,松野峻介,神田悠希,吉田 涼</p>	<p>司会 池永直樹氏(関西大学) (13:15~14:30)</p> <p>1E08(13:15~13:30)活性炭担持鉄系触媒を用いた二酸化炭素からの低級オレフィン合成(北九州市大)○朝見賢二,一色美緒,大庭亮介</p> <p>1E09(13:30~13:45)アルミナ担持銅触媒の調製法と一酸化炭素の選択酸化(静岡大)○武石 薫,渋谷善紀</p> <p>1E10(13:45~14:00)ポリビニルピロリドンを保護コロイドとして分散させた白金ナノ微粒子が触媒するギ酸分解に基づく選択的水素生成機構(大阪市大)○南 祐輔,池山秀作,天尾 豊</p> <p>1E11(14:00~14:15)触媒表面の塩基性制御によるギ酸からの重水素ガス選択合成とトンネル効果(大阪大,京都大-ESICB)○森 浩亮,(大阪大)二村友也,増田晋也,(京都市工繊大)小林久芳,(大阪大,京都大-ESICB)山下弘巳</p> <p>1E12(14:15~14:30)含窒素官能基で修飾した Pd 系合金によるギ酸からの水素発生(首都大)○早稲田 萌,林 峻,(首都大,京都大-ESICB)三浦大樹,宍戸哲也</p>	<p>司会 雨宮正臣氏(JXTG エネルギー) (13:00~13:45)</p> <p>1F05(13:00~13:15)代替キャリアガスをを用いたガソリンの全組成分析(アジレント・テクノ)○橋北直人,関口 桂,中井隆志,太田瀬 亮,小川裕之</p> <p>1F06(13:15~13:30)GCによる FCV 品質水素中無機ガス分析のための技術検討(アジレント・テクノ)○太田瀬 亮,亀田 洋,川上 肇,小川裕之</p> <p>1F07(13:30~13:45)液体ガスインジェクターを用いたガスクロマトグラフによる液化石油ガス中の残渣油分析(アキュメンテック)○高橋 慶,(Da Vinci Labo.) L.Cheng, H. Moes</p> <p>司会 今 喜裕氏(産業技術総合研究所) (13:45~14:45)</p> <p>1F08(13:45~14:00)有機化合物で修飾した酸化セリウムと 2-シアノピリジンからなる触媒系での二酸化炭素とアルコールからの直接有機カーボネート合成(東北大)○樋渡大樹,田村正純,中川善直,富重圭一</p> <p>1F09(14:00~14:15)CeO₂-catalyzed direct diethyl carbonate synthesis from CO₂ and ethanol in a combination of zeolite-catalyzed hydration of 2,2-diethoxypropane (Tohoku Univ.)○T. Chang, M. Tamura, Y. Nakagawa, (Tosoh)S. Matsumoto, T. Mishima, (AIST)N. Fukaya, J.-C. Choi, (Tohoku Univ.)K. Tomishige</p> <p>1F10(14:15~14:30)第三金属で修飾した Pd 系金属間化合物触媒を用いたニトロスチレンの水素化反応(東工大)○川本史仁,宮崎雅義,高山大鑑,小松隆之</p> <p>1F11(14:30~14:45)担持 Pd ナノ粒子によるシナムアルデヒドの選択的水素化-CO 還元処理の効果(名古屋大)○小椋啓司,村田和優,(京都大-ESICB,熊本大)大山順也,(名古屋大,京都大-ESICB)薩摩 篤</p>
<p>休憩 (14:30~15:00)</p>	<p>休憩 (14:30~15:00)</p>	<p>休憩 (14:45~15:15)</p>
<p>司会 桑原泰隆氏(大阪大学) (15:00~16:15)</p> <p>1D12(15:00~15:15)1,6-ヘキサジエールからシクロペンタンメタノールおよび 5-ヘキセン-1-オールへの変換に対するハイドロキシアパタイト触媒の酸塩基特性の影響(高知大)○中桐麻人,今村和也,恩田歩武</p> <p>1D13(15:15~15:30)ジルコニア系触媒を用いたセルロースのソルボサーマル変換(高知大)○寺坂康志,恩田さゆり,今村和也,恩田歩武</p> <p>1D14(15:30~15:45)スルホン化活性炭触媒と強酸性陽イオン交換樹脂触媒の活性比較(高知大)○坂本友樹,今村和也,恩田歩武</p> <p>1D15(15:45~16:00)藻類産生油スクアレンの接触分解によるイソプレネン製造(筑波大,産総研)○木村和哉,(筑波大)白石一真,中村潤児,(筑波大,産総研)藤谷忠博</p> <p>1D16(16:00~16:15)バイオオイル含有化合物の水素化における共存成分の影響(産総研)○鳥羽 誠</p>	<p>司会 眞中雄一氏(東京工業大学) (15:00~16:00)</p> <p>1E13(15:00~15:15)各種の金属担持酸化触媒上での CO₂ の auto-methanation 特性(静岡大)○平田 望,伊藤幹人,神山明日香,(天野工業技研)赤間 弘,(静岡大)河野芳海,渡部 綾,福原長寿</p> <p>1E14(15:15~15:30)TiO₂ とギ酸脱水素酵素を用いた水を電子源とする CO₂ 光還元系の開発(大阪市大)○石橋知也,池山秀作,東 正信,天尾 豊</p> <p>1E15(15:30~15:45)リンゴ酸酵素が触媒する二酸化炭素固定反応における多電子蓄積ジフェニルピオローゲン誘導体の機能に関する研究(大阪市大)○片桐毅之,池山秀作,天尾 豊</p> <p>1E16(15:45~16:00)中温作動型電解セルを用いた CO₂ 還元反応(東京大)○藤原直也,多田昌平,小林靖和,大山茂生,菊地隆司</p>	<p>司会 田村正純氏(東北大学) (15:15~16:15)</p> <p>1F12(15:15~15:30)MoO₃/TiO₂触媒を用いた高効率アリル化反応における担体の効果(産総研)○今 喜裕,(神奈川大)石川理史,(産総研)中島拓哉,鶴見翔太,永島裕樹,藤谷忠博,(神奈川大)上田 涉</p> <p>1F13(15:30~15:45)Ru 錯体触媒を用いる芳香族アミド C-H 結合の直接変換を経る複素環合成(首都大)○木村悠倫子,(首都大,京都大-ESICB)三浦大樹,宍戸哲也</p> <p>1F14(15:45~16:00)Sc(OTf)₃ 触媒を用いる 2-置換ベンゾイミダゾール類の新合成法(京都大)○宮部大志,木村 祐,近藤輝幸</p> <p>1F15(16:00~16:15)ルテニウム錯体触媒を用いる 2-(2-ヒドロキシエチル)フェノールからの 2-クマラノン誘導体の合成(京都大)○豊田貴大,木村 祐,近藤輝幸</p>

2019 年山形大会プログラム(10 月 31 日・午後)

G 会場 (3F・研修室 A)	H 会場 (3F・交流室 A)	ポスター会場 (3F・ホワイエ)
<p>司会 猪股雄介氏(首都大学東京)(13:00~13:45) 1G08(13:00~13:15)水蒸気共存下における NO_x 還元反応の低温化(早稲田大)○重本彩香,大森裕貴,比護拓馬,小河脩平,関根 泰 1G09(13:15~13:30)ヒドロキシアパタイト担持 Rh 触媒による NO の選択還元(首都大)○土井 隼,林 峻, (首都大,京都大-ESICB)三浦大樹,宍戸哲也 1G10(13:30~13:45)Selective catalytic reduction of NO over Cu-Cr/Al₂O₃ catalysts(Tokyo Metropolitan Univ.)○S. Piao, (Tokyo Metropolitan Univ. Kyoto Univ.-ESICB)H. Miura, T. Shishido</p> <p>司会 羽田政明氏(名古屋工業大学)(13:45~14:30) 1G11(13:45~14:00)W₄V₃O₁₉ 複合酸化物のイオン交換によるミクロ細孔性質制御およびその NH₃-SCR 触媒活性 (神奈川大)○神山曜帆,(Ningbo Univ.)Z. Zhenxing, (神奈川大)石川理史,(首都大)猪股雄介,村山 徹, (神奈川大)上田 渉 1G12(14:00~14:15)4 価バナジウムを含んだバルク酸化バナジウム触媒の低温 (150 °C以下)における NH₃-SCR 活性 (首都大)○猪股雄介,(中国電力)清永英嗣,盛田啓一郎, 吉田和広,(北海道大)窪田博愛,鳥屋尾 隆,清水研一, (首都大)春田正毅,村山 徹 1G13(14:15~14:30)ディーゼル酸化触媒共存材料の触媒特性への影響(東京濾器)○田中潤矢,新井聡史,鈴木秀律,森 高行, (産総研)内澤潤子,小淵 存,濱田秀昭,佐々木 基</p>	<p>司会 椿 範立氏(富山大学)(13:00~13:45) 1H07(13:00~13:15)流通型マイクロ波反応装置における内部温度測定と活性向上効果 (産総研)○佐藤剛一,羅 紅岩,宮川正人,西岡将輝 1H08(13:15~13:30)地球環境とメタン化学へのアプローチへの一考察(JOGMEC)○伊原 賢 1H09(13:30~13:45)金属硫化物クラスターを用いたメタンからメタノールへの変換反応(JST-PRESTO,東工大)○松本 剛, (中央大)栗原和人,(東工大)大須賀遼太,野村淳子,横井俊之, (中央大)張 浩徹</p> <p>司会 佐藤剛一氏(産業技術総合研究所)(13:45~14:30) 1H10(13:45~14:00)メタンからの直接メタノール合成に活性を示す銅含有ゼオライト触媒の探索(熊本大)○平山愛梨, (熊本大,京都大-ESICB)大山順也,芳田嘉志,町田正人 1H11(14:00~14:15)過酸化水素を用いたメタン選択酸化反応に有効な担持 Co 触媒(熊本大)○安部大樹, (熊本大,京都大-ESICB)大山順也,芳田嘉志,町田正人 1H12(14:15~14:30)ルテニウム系触媒を用いたメタンの選択酸化反応の検討(東京大)榎田啓文,○小林靖和,尹 光男, I. T. Ghampson, V. Vargheese,大山茂生</p>	<p>ポスター掲示 (11:00~16:30)</p> <p>【ポスターQA (奇数番号, 14:30~16:00)】 *偶数番号の QA は 2 日目</p>
<p>休憩 (14:30~15:00)</p>	<p>休憩 (14:30~15:00)</p>	
<p>司会 藤本尚則氏(コスモ石油)(15:00~15:45) 1G14(15:00~15:15)担持白金触媒の三元触媒活性に及ぼす担体の酸塩基特性の影響(名工大)○山田達弥,羽田政明 1G15(15:15~15:30)担持イリジウム触媒の三元触媒活性に及ぼす異種貴金属との複合化効果(名工大)○高須基暢,羽田政明 1G16(15:30~15:45)ゼオライト触媒による CFRP 熱分解ガスの軽質化プロセスの検討(成蹊大)○大島一真, (フロンティア・ラボ)藤井大将,(成蹊大)森田一将,保阪真喜, (フロンティア・ラボ)室井高城,(成蹊大)里川重夫</p> <p>司会 菅沼学史氏(鳥取大学)(15:45~16:30) 1G17(15:45~16:00)シラノール濃度を制御したゼオライト*BEA への炭化水素吸着(早稲田大)○鈴木豪太,松方正彦 1G18(16:00~16:15)担持貴金属触媒上でのヒドラジンによるセレン酸の水中還元 (九州大)○居藤恭吾,松根英樹,山本 剛,岸田昌浩 1G19(16:15~16:30)担持白金触媒上での亜ヒ酸水中酸化反応の速度解析(九州大)○浦田蒼幸,松根英樹,山本 剛,岸田昌浩</p>	<p>司会 野村淳子氏(東京工業大学)(15:00~16:15) 1H13(15:00~15:15)内部凝縮型反応器(ICR)を用いる二酸化炭素からの DME 合成(北九州市大)○荒木貴裕,朝見賢二, (島根大)小俣光司,(HiBD 研)藤元 薫 1H14(15:15~15:30)高級アルコール合成用 CoMn 触媒の開発 (富山大)○浅野伸悟,楊 國輝,米山嘉治,椿 範立 1H15(15:30~15:45)電場印加反応場における低温メタン炭酸ガス改質の反応メカニズム (早稲田大)○山野遼太,山田研成,比護拓馬,小河脩平,関根 泰 1H16(15:45 ~ 16:00)Enhanced liquid hydrocarbon fuel production from CO₂ hydrogenation: Catalytic performance of bimetallic catalysts with a two-stage reactor system (Univ. Toyama)○L. Guo, G. Yang, Y. Yoneyama, N. Tsubaki 1H17(16:00~16:15)Fe/SBA-15 触媒の FT 反応性に及ぼす還元条件の影響(秋田大)○伊藤 颯,江刺家淳大,池内孝夫,進藤隆世志</p>	

2019 年山形大会プログラム(11 月 1 日・午前)

A 会場 (1F・テルサホール)	B 会場 (1F・大会議室)	C 会場 (2F・リハーサル室)
	<p>Chair. Dr. J. Ohyama (Kumamoto Univ.) (09:00~10:00) 2B01(09:00~09:30) 【Invited】 Development of metal oxide nanosheet membranes: Separation performance in water and organic solvent(Kobe Univ.)○K. Nakagawa</p> <p>2B02(09:30~10:00) 【Invited】 Micro-architecture of electrodes for deformable energy storage devices (Chung-ang Univ.)○I. Nam</p> <p>Chair. Dr. R. Iwamoto (Idemitsu Kosan Co., Ltd.) (10:00~10:30) 2B03(10:00 ~ 10:15) Selective separation of biomass-derived sugars and aromatics with metal-organic framework NU-1000(Tohoku Univ.)○M. Yabushita, (Hokkaido Univ.)A. Fukuoka, (Northwestern Univ.)O. K. Farha, (Univ. Calif.)A. Katz 2B04(10:15 ~ 10:30)Methane selective oxidation to formaldehyde on metal phosphates by oxygen atom shuttle(Univ. Tokyo)○I. T. Ghampson, (Univ. Tokyo, Virginia Tech.)G.-N. Yun, (Univ. Tokyo)M. Yoza, S.-T. B. Lundin, Y. Kobayashi, (Univ. Tokyo, Virginia Tech., Fuzhou Univ.)S. Ted Oyama</p> <p style="text-align: center;">Break(10:30~10:45)</p> <p>Chair. Dr. S. Hosokawa (Kyoto Univ.) (10:45~11:45) 2B05(10:45~11:15) 【Invited】 Photoelectrochemical behavior of Ag₂O decorated meso TiO₂ nanostructure templated using double comb copolymer (Konkuk Univ.)G. Y. Choi, S. M. Lim, J. Moon, J. M. Lim, U. C. Baek, ○J. Park 2B06(11:15 ~ 11:45) 【Invited】 Artificial photosynthesis by using all-solid-state photocatalysts—Photocatalytic conversion of CO₂ by H₂O as an electron donor— (Kyoto Univ.)○K. Teramura, K. Hori, Y. Hasegawa, Y. Terao, H. Tatsumi, S. Wang, R. Pang, Z. Huang, S. Iguchi, Z. Wang, H. Asakura, S. Hosokawa, T. Tanaka</p>	<p>司会 永松茂樹氏(日揮ユニバーサル) (09:15~10:15) 2C01(09:15~09:30)分子組成データの活用による原油の反応性予測方法の検討(JPEC)○辻 浩二,橋本益美,谷地弘志,中村 勉 2C02(09:30~09:45)分子組成データの活用による原油混合時の相溶性予測手法の検討 (JPEC)○橋本益美,辻 浩二,谷地弘志,中村 勉 2C03(09:45~10:00)重質残渣油の RFCC 原料化のための RDS 触媒システム開発 (第 3 報) 脱れき油の反応性予測 (JXTG エネ)○松下康一,東 正浩,岩間真理絵,高村 徹 2C04(10:00~10:15)重質残渣油の RFCC 原料化のための RDS 触媒システム開発 (第 4 報) 脱れき油の RFCC 原料化検討 (JXTG エネ)○高村 徹,松下康一,大内 太,中川真奈巳</p> <p style="text-align: center;">休憩 (10:15~10:30)</p> <p>司会 中野宏二氏(日揮触媒化成) (10:30~11:30) 2C05(10:30~10:45)分子構造属性を用いた RDS プロセス解析—原油の重質度の反応性影響評価—(JXTG エネ)○岩間真理絵,大内 太,柴田悠一,松下康一 2C06(10:45~11:00)RDS/RFCC 全体最適処理技術開発 (第 1 報) トリクルベッド内気液流体の CFD モデリング (出光)○田中隆三,平松義文,坂倉 圭,各務成存,高橋朋宏,三浦裕紀 2C07(11:00~11:15)RDS/RFCC 全体最適処理技術開発 (第 2 報) RDS 触媒システムによる DSAR の組成制御(出光)○高橋朋宏,田中隆三,平松義文,坂倉 圭,各務成存,三浦裕紀 2C08(11:15~11:30)ペトロリオミクス技術を活用した偏流解析モデルの開発—触媒固化部の成長による流動挙動への影響—(日揮)○高橋公紀,野々上友也,寺谷彰悟,(JPEC)早坂俊明,中村 勉</p>

2019 年山形大会プログラム(11 月 1 日・午前)

D 会場 (3F・アプローチ A)	E 会場 (3F・アプローチ B)	F 会場 (3F・研修室 B)
<p>司会 銭 衛華氏(東京農工大学)(09:15~10:15) 2D01(09:15~09:30)エタノール水溶液と担持金属触媒を用いるベンゾフランの水素化反応(岩手大)○皆川直祐,永澤佳之,七尾英孝,(産総研)佐藤 修,山口有朋,(岩手大,産総研)白井誠之 2D02(09:30~09:45)バイオマスに含まれるリグニンの有用化学物質への変換(産総研)○山口有朋,三村直樹,(岩手大,産総研)白井誠之,(産総研)佐藤 修 2D03(09:45~10:00)高温メタノール水溶液を用いるバイオマスモデル部位のメタノリシス反応(岩手大)○谷口賢吉,七尾英孝,(産総研)佐藤 修,山口有朋,(岩手大,産総研)白井誠之 2D04(10:00~10:15)リグニン可溶化液の詳細構造解析(産総研)○麓 恵里,佐藤信也,(北海道大)川又勇来,(北海道大,出光)小山啓人,(北海道大)吉川琢也,中坂佑太,(東工大)多湖輝興,(北海道大)増田隆夫</p>	<p>司会 関根 泰氏(早稲田大学)(09:15~10:15) 2E01(09:15~09:45)【招待】有機ケミカルハイドライド法による水素の大量貯蔵・輸送技術の開発(千代田化工)○今川健一 2E02(09:45~10:00)メチルシクロヘキサン脱水素に高い活性・選択性・耐久性を示す新規 Pt 系合金触媒の開発(北海道大)中谷勇希,○古川森也,清水研一 2E03(10:00~10:15)トルエン水素化反応の変動操作における脱メチル化物の生成挙動の予測(東工大)○高井陽平,(東工大,産総研)松本秀行,(産総研)熱海良輔,(東工大)吉川史郎,(産総研)崔 協力,難波哲哉,辻村 拓</p>	<p>司会 本倉 健氏(東京工業大学)(09:15~10:15) 2F01(09:15~09:30)エタンの脱水素によるエチレンの合成(関西大)○飯塚哲也,三浦徳真,(東ソー)林 智洋,花谷 誠,(関西大)佐野 誠,三宅孝典 2F02(09:30~09:45)Pt-Mg 担持ゼオライトを用いた長鎖ノルマルパラフィンからの低級イソパラフィン選択合成(東工大)○藤塚大裕,八木田雄介,雑賀隆志,多湖輝興 2F03(09:45~10:00)イリジウム錯体とゼオライトの複合による再利用可能な脱水素反応用触媒の開発(香川大)空田大地郎,○和田健司,馮 旗,(京大)西岡正明,藤田健一 2F04(10:00~10:15)ナフサ接触分解反応プロセスに向けた複合型ゼオライト系触媒の開発(千代田化工)○武藤昭博,本宮あづさ,程島真哉</p>
<p>休憩(10:15~10:30)</p>	<p>休憩(10:15~10:30)</p>	<p>休憩(10:15~10:30)</p>
<p>司会 山口有朋氏(産業技術総合研究所)(10:30~11:30) 2D05(10:30~10:45)水/1-ブタノール溶媒を用いたスギ木材の成分分離に及ぼす溶媒相状態の影響(北海道大)○川又勇来,石丸裕也,青木裕美,吉川琢也,(北海道大,出光)小山啓人,(北海道大)中坂佑太,増田隆夫 2D06(10:45~11:00)タール成分の改質ポイントー大きな吸熱反応場における熱管理の重要性ー(静岡大)伏見祐哉,渡部 綾,河野芳海,○福原長寿 2D07(11:00~11:15)炭素材料の構造制御と固体酸触媒の調製(東農工大)○檜貝大輔,C. Lee,鈴木裕人,T. T. Nguyen,銭 衛華 2D08(11:15~11:30)固体酸/塩基触媒を用いた植物油由来の脂肪酸の脱酸素反応(東農工大)○渡邊聡敬,村山ひとみ,銭 衛華</p>	<p>司会 今川健一氏(千代田化工建設)(10:30~11:30) 2E04(10:30~10:45)Ni 触媒を用いた Toluene 水素化反応における水蒸気の影響(産総研)○熱海良輔,(山形大)小林慶祐,(産総研)崔 協力,難波哲哉,(東工大,産総研)松本秀行,(山形大)松田圭悟,(産総研)辻村 拓 2E05(10:45~11:00)高水素利用率を目的とした Ni 触媒による Toluene 水素化反応(産総研)熱海良輔,(東京電機大)○岩谷直樹,(産総研)青木 豊,小島宏一,難波哲哉,(産総研,東工大)松本秀行,(産総研)辻村 拓 2E06(11:00~11:30)【招待】有機ハイドライドの製造および利用における技術開発(JXTG エネ)○岩崎 英</p>	<p>司会 藤塚大裕氏(東京工業大学)(10:30~11:30) 2F05(10:30~10:45)SnPt 二元系触媒の Sn/Pt 原子比がカルボン酸の水素化反応に及ぼす影響(神戸大)○伊藤大晃,高土大夢,谷屋啓太,市橋祐一,西山 覚 2F06(10:45~11:00)エチレンクラッカーボトム油からの BTX 製造技術の開発(JXTG エネ)○眞弓和也,梅田 匡,小林正英,岩佐泰之 2F07(11:00~11:15)モンモリロナイト触媒によるアルカンを用いたベンゼンの直接アルキル化反応と金属添加による協奏作用の発現(東工大)○高島 萌,南保雅之,(東工大,産総研)眞中雄一,(東工大,JST-PRESTO)本倉 健 2F08(11:15~11:30)含窒素廃プラスチックの分解油化における脱窒素プロセスの開発(北九市大)○杉本和八,朝見賢二,(環境エネルギー)谷 春樹</p>

2019 年山形大会プログラム(11 月 1 日・午前)

G 会場 (3F・研修室 A)	H 会場 (3F・交流室 A)	ポスター会場 (3F・ホワイエ)
<p>司会 谷池俊明氏(北陸先端科学技術大学院大学) (09:15~10:15)</p> <p>2G01(09:15~09:30)シンジオ特異的リビング重合触媒によるプロピレンとアルケニルアルコールとの共重合 (広島大)○岡村健一郎,田中 亮,中山祐正,塩野 毅</p> <p>2G02(09:30~09:45)環構造を有するポリオレフィンの合成 (東工大)○小坂田耕太郎</p> <p>2G03(09:45 ~ 10:00)Synthesis and properties of gradient copolymers composed of norbornene and higher α-olefins using <i>ansa</i>-fluorenylamidodimethyltitanium/Ph₃CB(C₆F₅)₄ catalyst system(Hiroshima Univ.)○H. Yuan, R. Tanaka, Y. Nakayama, T. Shiono</p> <p>2G04(10:00~10:15)開環メタセシス重合の触媒前駆体となる置換フェノキシ基をもつタングステン錯体の合成経路 (岡山大)○佐野航介,押木俊之</p> <p style="text-align: center;">休憩 (10:15~10:30)</p> <p>司会 黒川秀樹氏(埼玉大学) (10:30~11:30)</p> <p>2G05(10:30~10:45)イミド配位ニオブ-アルキリデン錯体による 2 置換アセチレンのメタセシス重合 (首都大)○伊澤 樹,野村琴広</p> <p>2G06(10:45~11:00)ハーフチタノセン触媒によるエチレンと芳香族ビニルモノマーとの共重合(首都大)○青木大峻,野村琴広</p> <p>2G07(11:00~11:15)Origin of multicenter mediated synergistic ethylene polymerization with polynorbornene-supported half-titanocene catalysts(JAIST)○A. Thakur, T. Taniike</p> <p>2G08(11:15~11:30)ハーフチタノセン錯体触媒によるエチレンと各種環状オレフィンとの共重合 (首都大)原川仁志,○野村琴広</p>		<p>ポスター掲示 (9:00~16:30)</p>

2019 年山形大会プログラム(11 月 1 日・午後)

A 会場 (1F・テルサホール)	B 会場 (1F・大会議室)	C 会場 (2F・リハーサル室)
	<p>Chair. Dr. K. Wada (Kagawa Univ.) (13:00~13:45)</p> <p>2B07(13:00~13:15)Low temperature ammonia synthesis over supported Fe catalyst in an electric field (Waseda Univ.)○R. Sakai, K. Murakami, Y. Mizutani, Y. Tanaka, S. Hayashi, S. Ogo, (Nippon Shokubai)N. Haginiwa, (Waseda Univ., Nippon Shokubai)H. Tsuneki, (Waseda Univ.)Y. Sekine</p> <p>2B08(13:15 ~ 13:30)Insight into the governing factors for ammonia synthesis in the electric field using a DFT study (Waseda Univ.)○K. Murakami, Y. Tanaka, S. Hayashi, R. Sakai, Y. Hisai, S. Ogo, (Myongji Univ.) J. G. Seo, (NIMS)A. Ishikawa, (Nippon Shokubai, Waseda Univ.) H. Tsuneki, (Waseda Univ.)Y. Sekine</p> <p>2B09(13:30~13:45)Investigation of Ni/MAl₂O₄ (M = Mg, Ca, Sr, Ba) for catalytic NH₃ decomposition (Kyoto Univ.)○Y. Im, H. Muroyama, T. Matsui, K. Eguchi</p> <p>Break (13:45~14:00)</p> <p>司会 宮越一市氏 (JXTG エネルギー) (14:00~15:15)</p> <p>2B10(14:00~14:15)ボルト締付後のボルトねじ山の突出し長さについて(出光)○山中啓司</p> <p>2B11(14:15 ~ 14:30)New leakage solution for thermal expansion and cycle process in oil and gas industries (Kukil Inntot)○B. J. Jee, (Etech Consulting)H. Kurumado</p> <p>2B12(14:30~14:45)メンテナンスにおける資格不要作業の技量認証 (施工品質確保に向けて) (JXTG エネ)○昆野哲哉</p> <p>2B13(14:45~15:00)フランジからの漏えい防止に対する元請会社の取り組み(レイズネクスト)○近藤康治,浦野正夫,小川英之</p> <p>2B14(15:00~15:15)プラントメンテナンスにおける新たな塩分除去—新しいレーザークリーニング CoolLaser— (トヨコー)○古牧雄二,(光産業創成大)藤田和久</p> <p>休憩 (15:15~15:45)</p> <p>司会 坂巻正登氏 (出光興産) (15:45~17:00)</p> <p>2B15(15:45~16:00)回転式二重管熱交換器への傾き追従型メカニカルシール導入による改良保全(JXTG エネ)○片野雅人</p> <p>2B16(16:00~16:15)国内初のドライチャンバー工法による海底配管補修工事(日鉄エンジニア)○高澤大志,道端 剛</p> <p>2B17(16:15~16:30)CV ケーブル (3 kV~22 kV) 未橋絡水トリ—診断方法(JFE プラントエンジニア)○三村裕太,井上敏行</p> <p>2B18(16:30~16:45)石炭法の消火用屋外給水配管に高密度ポリエチレン管を用いた施工例 (コスモエンジニア)○吉村博紀,中野剛宏,(積水化学)鈴木剛史</p> <p>2B19(16:45~17:00)重質油の分解によるニードルコークスの生産 (JXTG エネ)○大山 隆</p>	<p>司会 中岡哉徳氏 (JXTG エネルギー) (13:00~14:00)</p> <p>2C09(13:00~13:30)【招待】アスファルテンのペトロリオミクス (産総研)○森本正人</p> <p>2C10(13:30~13:45)小角散乱法によるアスファルテン凝集緩和挙動における溶媒と温度効果に基づく相互作用様態の評価 (千葉大)○森田 剛,(産総研)森本正人,(関西大)山本秀樹,(出光,JPEC)田中隆三</p> <p>2C11(13:45~14:00)多成分系凝集モデル (MCAM) を用いた溶剤脱れき装置の抽出物予測 (JPEC)○佐藤浩一,片野恵太,中村 勉</p> <p>休憩 (14:00~14:15)</p> <p>司会 岩間真理絵氏 (JXTG エネルギー) (14:15~15:00)</p> <p>2C12(14:15~14:30)アモルファスシリカアルミナによる減圧軽油中の塩基性含窒素化合物吸着の速度論的解析 (鳥取大)○菅沼学史,有田洗介,辻 悦司,片田直伸</p> <p>2C13(14:30~14:45)分子構造情報を活用した RFCC 反応モデルの構築(JPEC)○高橋祐樹,早坂俊明,中村 勉</p> <p>2C14(14:45~15:00)APPI 法と Ag カチオン化 ESI 法を用いた FT-ICR MS による硫黄化合物のキャラクタリゼーション (JPEC)○片野恵太,佐藤浩一,中村 勉</p> <p>休憩 (15:00~15:30)</p> <p>司会 佐藤浩一氏 (石油エネルギー技術センター) (15:30~16:45)</p> <p>2C15(15:30~15:45)ゲル骨格補強法を用いて調製したゼオライト含有二層および三層階層構造触媒による n-dodecane の接触分解(三重大)○石原 篤,林 史也,森 和哉,(三重大,三重工研)松浦真也,(三重大)橋本忠範,那須弘行</p> <p>2C16(15:45~16:00)光学的手法を用いた原油相溶性評価に関する検討(コスモ石油)○深津直矢,飯塚喜啓,岩船聖敏,小森一幸</p> <p>2C17(16:00~16:15)接触改質触媒の活性および生成物特性に及ぼす原料重質化の影響(コスモ石油)○河野榛稀,新名 哲,川上敬士,千代田範人,佐藤一仁</p> <p>2C18(16:15~16:30)プロピレン精製用 COS 吸着剤の寿命予測 (日揮触媒化成)○小島千尋,酒井伸吾</p> <p>2C19(16:30~16:45)排水処理設備の能力を診断するモバイル装置の活用および前処理装置の開発 (コスモ石油)○斎藤勇人,豊田光宏,小森一幸</p>

2019 年山形大会プログラム(11 月 1 日・午後)

D 会場 (3F・アプローチ A)	E 会場 (3F・アプローチ B)	F 会場 (3F・研修室 B)
<p>司会 瀧野哲郎氏(東京工業大学)(13:00~15:00)</p> <p>2D09(13:00~13:15)エンタルピー関数活用によるボイラ/タービンの新しい効率評価手法とオンライン化 (E テックコンサル)○本田達徳</p> <p>2D10(13:15~13:30)AI を用いて既設 CDU (ADU & VDU) の利益最大化(得率と所要エネルギー)ができる PIL 社の i-CDU™ 技術の実例紹介(aPEC)○渡部高司</p> <p>2D11(13:30~14:00)【招待】製油所のデジタル・トランスフォーメーションに向けて (東農工大)○山下善之</p> <p>2D12(14:00~14:30)【招待】プラント保安の高度化に向けたデータプラットフォーム (JPEC)稲村和浩,○秋本 淳,内田 充</p> <p>2D13(14:30~15:00)【招待】デジタルトランスフォーメーションによる設備管理のスマート化 (横河ソリューション)○秋庭智泰</p> <p style="text-align: center;">休憩(15:00~15:30)</p> <p>司会 樋口文孝氏(出光興産)(15:30~17:00)</p> <p>2D14(15:30~16:00)【招待】画像データの解析による配管外面腐食評価システム (アクセンチュア)○秦 央彦,佐伯 隆,守屋靖弘,今村彰太郎</p> <p>2D15(16:00~16:30)【招待】特定認定におけるスマート化への三菱ケミカルの取り組み (三菱ケミカル)○青山貴征</p> <p>2D16(16:30~17:00)【招待】並みのデジタル化では国際競争に勝てない—超スマートリファイナリー構築の勧め— (JPEC)○豊岡義行</p>	<p>司会 古川森也氏(北海道大学)(13:15~14:30)</p> <p>2E07(13:15~13:30)温和な条件下でのアンモニア合成を志向した希土類複合酸化物担持 Ru 触媒に対する塩基性元素のドーブ効果(京大・ESICB,名古屋大)○佐藤勝俊,(名古屋大)宮原伸一郎,小倉優太,(大分大)辻丸琴子,和田雄一郎,(京大・ESICB,名古屋大)永岡勝俊</p> <p>2E08(13:30~13:45)アンモニア合成用希土類酸化物担持 Ru 触媒での担体焼成温度の影響(名古屋大)○小倉優太,(大分大)浅井貴裕,(名古屋大)宮原伸一郎,(名古屋大,京大・ESICB)佐藤勝俊,(名古屋大)永岡勝俊</p> <p>2E09(13:45~14:00)Ru/CeO₂ 上でのアンモニア合成における Ru 前駆体種の影響(東京電機大)○永田祐希,(山形大)小林慶祐,(東京電機大)小林大祐,(産総研)難波哲哉</p> <p>2E10(14:00~14:15)卑金属触媒を用いた高効率電場アンモニア合成(早稲田大)○林 流石,村上洸太,田中雄太,堺 竜哉,都甲健太,伊東一陽,小河脩平,(NIMS)石川敦之,(日本触媒)萩庭尚道,(早稲田大)中井浩巳,(早稲田大,日本触媒)常木英昭,(早稲田大)関根 泰</p> <p>2E11(14:15~14:30)電場印加反応場におけるコバルト系担持触媒を用いたアンモニア合成(早稲田大)○水谷優太,堺 竜哉,村上洸太,田中雄太,林 流石,小河脩平,(日本触媒)萩庭尚道,(早稲田大,日本触媒)常木英昭,(早稲田大)関根 泰</p> <p style="text-align: center;">休憩(14:30~15:00)</p> <p>司会 佐藤勝俊氏(京都大学)(15:00~16:00)</p> <p>2E12(15:00~15:30)【招待】変動性再エネ水素利用を目的とした Ru/CeO₂ によるアンモニア合成 (産総研)○難波哲哉</p> <p>2E13(15:30~15:45)耐熱性アンモニア燃焼触媒の合成と反応特性解明(産総研)○日隈聡士,今 喜裕,浅川真澄,佐藤一彦</p> <p>2E14(15:45~16:00)触媒によるアンモニウム塩類からの尿素合成(東工大,産総研)○眞中雄一,(東工大)長塚祐樹,本倉 健</p>	<p>司会 岩田尊夫氏(国際石油開発帝石)(13:00~14:30)</p> <p>2F09(13:00~13:45)【招待】東北地方の天然ガス事情(東北天然ガス)○石井秀明</p> <p>2F10(13:45~14:00)庄内をめぐる石油地質の諸問題(石油資源開発)○横井 悟</p> <p>2F11(14:00~14:15)日本海沿岸地域のタイト炭化水素鉱床の可能性—地表地質の石油根源岩分布から— (新潟大)○栗田裕司,(石油資源開発)横井 悟,黒川将貴,(カナダオイルサンド)鬼嶋正則</p> <p>2F12(14:15~14:30)LaNi₅ を触媒としたメタネーションによる二酸化炭素の有効利用の検討 (東海大)○緒方理人,内田晴久,原田 亮</p> <p style="text-align: center;">休憩(14:30~15:00)</p> <p>司会 横井 悟氏(石油資源開発)(15:00~17:00)</p> <p>2F13(15:00~15:15)水銀圧入が岩石中の孔隙構造に与える影響に関する研究 (JOGMEC)○服部達也,下河原麻衣,秋田康幸,三野泰之</p> <p>2F14(15:15~15:30)¹H-NMR 緩和時間測定法を用いた岩石試料の細孔分布解析(第2報) (北海道大)○熊谷治夫,(JOGMEC)下河原麻衣,三野泰之,岡野裕史</p> <p>2F15(15:30~15:45)岩石表面における原油吸着現象の検討 (JOGMEC)○下河原麻衣,服部達也,秋田康幸,三野泰之</p> <p>2F16(15:45~16:00)ドレーン工法による地盤中の油回収技術(第2報)(鹿島建設)○太田圭祐,青山和史,大塚誠治,上野洋右,河合達司,石神大輔,大橋麻衣子,瀬尾昭治,(錦城護謨)三成昌也,小柳勇也</p> <p>2F17(16:00~16:15)Application of DLVO theory in evaluating oil-calcite interaction in LSWF (Hokkaido Univ.)○A. Ubaidah, M. Takeya, Y. Elakneswaran, (JOGMEC)M. Shimokawara, H. Okano</p> <p>2F18(16:15~16:30)炭酸塩岩貯留層における低塩分濃度水攻法の複合地球化学モデリングの検討(北海道大)○竹谷未来, Y. Elakneswaran, A. Ubaidah, (JOGMEC)下河原麻衣,岡野裕史</p> <p>2F19(16:30~16:45)ビッグデータを用いたシェールオイル坑井の生産予測(INPEX)○島本辰夫,畔田慎太郎,野々上綾子</p> <p>2F20(16:45~17:00)CO₂ ミシブルコアフラッド試験における残留アスファルテン分布の一考察 (INPEX)○米林英治,岩間弘樹,高林克百,宮川喜洋,渡辺拓己</p>

2019 年山形大会プログラム(11 月 1 日・午後)

G 会場 (3F・研修室 A)	H 会場 (3F・交流室 A)	ポスター会場 (3F・ホワイエ)
<p>司会 奥村 和氏(工学院大学) (13:00~14:00)</p> <p>2G09(13:00~13:15)新型チタノシリケートの創製と酸化触媒性能(横浜国大)○窪田好浩,稲垣怜史,石塚 遼,浅沼 開</p> <p>2G10(13:15~13:30)大細孔ゼオライト触媒の構造と酸特性がメタノールから低級オレフィン合成に及ぼす影響(東工大)○朴 成植,佐藤楽爾,(横浜国大)窪田好浩,(東工大)野村淳子,(東工大,JST-PRESTO)横井俊之</p> <p>2G11(13:30~13:45)小細孔ゼオライトの骨格構造が MTO 反応活性に及ぼす影響(東工大)○西鳥羽俊貴,野崎拓弥,朴 成植,野村淳子,横井俊之</p> <p>2G12(13:45~14:00)メタン活性を示す担持 CHA 型金属含有ゼオライトの探索(東工大)○保田修平,國武祐輔,(東北大)藪下瑞帆,(東北大,JST-CREST)村松淳司,(東工大)横井俊之</p> <p>司会 窪田好浩氏(横浜国立大学) (14:00~15:00)</p> <p>2G13(14:00~14:15)TNU-9 ゼオライトの調製条件の検討と酸触媒反応特性(東工大)○陸 遥,S. Raquel,朴 成植,野村淳子,(東工大,JST-PRESTO)横井俊之</p> <p>2G14(14:15~14:30)メカノケミカル法による【Ga】-MFI の合成およびメタン転換触媒としての活性評価(東北大)○芳田元洋,武藤郁弥,堀江真未,(東工大)國武祐輔,(東北大)藪下瑞帆,真木祥千子,蟹江澄志,(東工大)横井俊之,(東北大,JST-CREST)村松淳司</p> <p>2G15(14:30~14:45)ボールミル処理窒化ホウ素のキャラクターゼーションと固体塩基触媒作用(九州大)○高垣 敦,(山口大)吉田真明,(産総研)治村圭子,林 繁信,(九州大)石原達己</p> <p>2G16(14:45~15:00)水酸化物とアルコキシドの反応による SrO-SiO₂ 固体塩基触媒の合成(北海道教育大)○松橋博美</p> <p>休憩 (15:00~15:30)</p> <p>司会 高垣 敦氏(九州大学) (15:30~16:30)</p> <p>2G17(15:30~15:45)金属酸化物触媒によるエタンの脱水素によるエチレン合成(関西大)○三浦徳真,(東ソー)林 智洋,花谷 誠,(関西大)佐野 誠,三宅孝典</p> <p>2G18(15:45~16:00)ピレン基で修飾したカーボン担持 Pd ナノ粒子触媒の開発と部分水素化反応への応用(大阪大)○吉井文晴,梅本大樹,(大阪大,京都大-ESICB)桑原泰隆,森 浩亮,山下弘巳</p> <p>2G19(16:00~16:15)酸化グラフェンを鋳型に利用して調製した Pt ナノシートの触媒作用(同志社大)○杉山晃次郎,竹中 壮</p> <p>2G20(16:15~16:30)赤外分光法を用いたメソポーラスシリカ細孔内の曲率表面に存在する活性点の観測(東工大)○大須賀遼太,横井俊之,野村淳子</p>		<p>ポスター掲示 (9:00~16:30)</p> <p>【ポスターQA (偶数番号, 14:30~16:00)】 *奇数番号の QA は 1 日目</p>